

平成30年美濃加茂市議会第2回定例会一般質問通告一覧

No.	議員名	質問要旨
1	坂井知足 創政会 (一問一答)	<p>1 教育環境の整備・充実等について</p> <p>① 小・中学校通学路等の安全対策の確立 先月、新潟市で小2の女子児童が、下校途中に連れ去られ、殺害されるという事件が起きた。こういった事件は、後を絶たない。本市における小・中学校の通学路の安全対策は。また、学校内における安全対策は</p> <p>② 中学校部活の週休2日制の実施 スポーツ庁は、今年3月に中学校の運動部の部活時間について、週2日以上不休の日を設ける指針を公表し、各自治体等に通知している。本市の中学校運動部の部活時間の現状と今後の対応は。また、運動部活動の在り方に関するガイドラインの策定予定は</p> <p>③ 公立高校(普通科)の入試制度の変更 今春から県立高校の入試が、これまでの「学区制」から県内全域の高校を受験できる「全県一区」に制度が変更された。この制度が変更された理由は何か。また、これによる市内受験生の進路選択はどうなったか</p> <p>2 カミーノの推進について</p> <p>① 事業推進の効果と今後への期待 地方創生・総合戦略事業として、平成28年度から「カミーノ」が推進されているが、2カ年が経過した現在におけるその成果と、今後の取り組み、また期待について</p> <p>② 具体的目標数値の達成率 事業推進に当たっては、数値目標が定められているが、その達成率はどうなっているのか</p> <p>①「自分らしく生きられる」、②「家族をつくれる」、③「お母さんになれる」、④「子どもの笑顔を守る」、⑤「ふるさとを好きになれる」等</p> <p>3 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の推進について</p> <p>① 高齢者福祉計画(平成30年度～平成32年度)の推進 高齢者福祉計画が3カ年毎に策定され、今年度から第7期がスタートするが、この計画の目的と今期の具体的な施策について</p> <p>② 介護保険事業計画(平成30年度～平成32年度)の推進 介護保険事業計画の目的と第7期計画の具体的な施策について</p> <p>③ 改正介護保険法の施行 4月から改正介護保険法が施行されている。主な改正点である「地域包括支援センターの機能強化」や、利用者負担の「3割導入」について</p>
2	片桐美良 真摯会 (一問一答)	<p>1 持続可能な地域づくりについて</p> <p>① まち協について</p> <p>I 地域での位置づけは</p> <p>II 地域の各種団体との連携</p> <p>III 行政として補完は</p> <p>IV 市長としてまち協に期待するものは</p> <p>② 小規模多機能自治について</p> <p>I 地域運営組織化が必要ではないか</p> <p>II 持続可能なまちづくりに職員の支援体制の見直しは</p> <p>③ 地域農業を未来へつなぐ方策</p> <p>I 農村環境や集落コミュニティ維持のための推進方策は</p> <p>II 果樹産地、堂上蜂屋柿の生き残り方策の考えは</p> <p>2 歯及び口腔の健康づくりについて</p> <p>① 小中学校の歯科検診における現状と未受診率は</p> <p>② 歯科検診をより有効に活用する対策は</p> <p>③ 丈夫な歯・骨格形成のための食育は</p> <p>④ 高齢者への取り組みと現状把握は</p> <p>⑤ 後期高齢者医療口腔健康診査の受診率は</p> <p>3 あい愛バスについて</p> <p>① 利用状況、目標達成は</p> <p>② 利用促進策の達成・未達成は</p> <p>③ 育む会はいかに</p> <p>④ 職員の率先利用促進策</p>
3	牧田秀憲 真摯会 (一問一答)	<p>1 子どもの貧困について</p> <p>① 7人に1人と言われている子どもの貧困率だが当市の実態として調査などしているか</p> <p>② なぜ子どもの貧困が生まれると考えるか</p> <p>③ 当市の取り組み又は支援の現状</p> <p>④ 福祉課と学校教育課との連携はあるか</p> <p>⑤ 今後に向けての取り組みや課題</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	牧田秀憲 続き	<p>2 地域奨学金制度について 経済的な理由により学費調達が困難な人の支援を目的に、都道府県・市区町村などの地方自治体を実施する奨学金制度があるが当市の考えは</p> <p>3 当市庁舎の電力供給について</p> <p>① 電力自由化に伴い平成28年10月から高圧電力に限り電力会社を中部電力からダイヤモンドパワーに変更した。変更前と比べて電気料金や電気の安定供給はどうだったか</p> <p>② 契約の対象施設は市役所、分庁舎含め25施設だが他の施設の電力供給の考えは</p> <p>③ 今年10月に更新の時期が来るが今後の予定は</p> <p>4 ご当地電力、電気の地産地消について 企業・個人に電力を小売りする新電力を31自治体がすでに始めており、86自治体が検討している。エネルギーの「地産地消」を進めている自治体が増えているが当市の考えは</p>
4	高井厚 新生会 (一問一答)	<p>1 買い物が困難な人達への買い物支援 この施策の考えについて、平成27年第3回定例会での答弁は、配食・配達サービス業者の紹介をすること、公共交通網形成計画の中で特に意識して位置づけたいであった。去る5月17日の岐阜新聞の朝刊には、大野郡白川村が移動販売車の試験運行を始めたことが紹介されていた</p> <p>① 高齢者実態調査で、「日用品の買い物ができない」直近の実態</p> <p>② 市内での業者による移動販売の状況</p> <p>③ あい愛バスを活用した日用品購入者の現状</p> <p>④ 移動販売車の運行を試験的にでも本市で行うことの所見</p> <p>2 防犯灯機能のさらなる向上に向けて 私たちが抱く安心感に防犯灯は大きくかかわっている。その設置については、かねてより自治会要望でその設置を要望してきている。80mという間隔が今回40mに改善されたことは評価できる</p> <p>① 5月現在、新規要望はどのくらいの件数が出されているか</p> <p>② 設置の優先順位や設置の可否についての市の基準</p> <p>③ LED化されて、年間どのくらいの経費減となっているか</p> <p>④ 今回の設置業者を、各地区単位で選定する考えはあるか</p> <p>3 AED（自動体外式除細動器）の活用の充実に向けて AEDは心臓に細動が起きたときに活用するが、「5分以内に除細動が可能な配置」がされていることがポイントだと言われている。本市でもあちこちにAEDが設置されていることから、安心を担保するべくその有効な活用を準備したい</p> <p>① 市施設に配置のAEDの数と昨年市の行事で利用された件数</p> <p>② 民間の事業所を含めたAED配置数（把握できていれば）</p> <p>③ 市施設での設置場所は一覧できるようになっているか</p> <p>④ スポ少や自治会等の活動や練習時のAED携行の状況</p> <p>⑤ AEDの貸し出しは行っているのか</p>
5	柘植宏一 新流 (一問一答)	<p>1 新庁舎建設計画について 新庁舎建設基本構想を基に、平成30年度・31年度において、新庁舎建設基本計画が策定される</p> <p>① 5月24日の新庁舎建設特別委員会において、候補地別コスト試算が提示された。民間資金・資産の活用が前提の建設と理解しているが、将来負担比率0%の基本的な堅持及びその他必要とされる施設整備資金の確保を前提としたとき、新庁舎建設資金の上限はどれほどか</p> <p>② 市長が唱える「地域課題解決型行政」と庁舎機能の関係はどのようなものか。また、行政における更なるICT化の進展と庁舎機能の関係はどのように想定するか</p> <p>2 第6次総合計画策定について 策定業務に関わる公募型プロポーザル方式による応募事業者を募集しており、6月11日が提案書の締め切りとなっている。どのような方向性で進めていくのか</p> <p>① 第6次総合計画の策定方針は何か。5次総策定との違いは何か</p> <p>② 市民ワークショップの分野及び開催回数に関する所感は</p> <p>3 発達支援センター設置について 平成30年度予算における教育センターの発達支援事業において、発達支援センター開設準備会議オブザーバー費4万円が計上され、また、発達障がい専門監として、可茂特別支援学校元校長の原武志氏を招聘し、センター設置に向けて準備が始まった</p> <p>① 発達支援センターの役割をどのように想定しているか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	柘植宏一 続き	② 開設準備会議の構成及び主管課はどのようになっているか ③ センターの設置時期はいつを想定しているか
6	酒向信幸 創政会 (一問一答)	1 歯と健康について ① 歯と全身の健康、栄養との関係について最近注目されており、口の役割、歯の病気、歯の病気と身体の病気等と様々な研究が報告されるようになった。また歯を多く失っていた人ほど命の危険性が高くなるという報告もある中、歯の重要性についてどう考えるか ② 虫歯は誰にでも確実に予防できるが、歯周病の程度に差はあれ、40歳以上の日本人の約90%がかかっているとも、生活習慣病ともいわれているが、本市における歯科検診事業での取り組み内容と結果・成果について ③ 岐阜県では平成22年に「岐阜県民の歯・口腔の健康づくり条例」を制定し施行された。本市においても「美濃加茂市民の歯と口腔の健康づくり条例」が平成25年に制定、施行され5年が経過するが、基本的施策については計画的に実施されているか ④ 本市のアンケート調査では、定期的に歯科健康検診を受けている人の割合は減少している。歯の健康を保ち続けるには、自己管理とかかりつけ歯科での定期健診が必要と記載されているが、今後の周知の仕方について ⑤ 全国学校歯科保険優良校表彰にて、優秀賞（文部科学大臣賞）の受賞に加え、全国健康づくり推進学校表彰で優良校に選ばれた山手小学校の素晴らしい取り組みについてどう思うか ⑥ 市内保育園・小学校での歯科保健の取り組みや各家庭での取り組みで教職員の共通理解と学校歯科医・保護者・関係機関・地域の連携・協力が必要と思われるが周知の仕方は ⑦ 6月は歯と口の健康週間（今年は4日～10日）であった。歯科疾患の予防に関する適切な定着を図っている。本市における啓発活動はどのように行っているか。また、今後はどのような活動をすべきか 2 夢の教室について ① JFAこころのプロジェクトでは、様々な競技の現役・OB・OGのスポーツ選手など「夢先生」として学校へ派遣している。本市においても、平成27年度から夢の教室が行われているが、授業を受けている生徒の反応はどうか ② 夢先生と一緒に体を動かして仲間と協力することの大切さなどを実感し、また夢先生が夢を持つことの素晴らしさを生徒に伝えている。多くの保護者の方も参観されるようになり、親子で夢を語ることは素晴らしいことだと思うがどう考えるか
7	日置祥子 日本共産党 美濃加茂 市議団 (一問一答)	1 国民健康保険について ① 1人当たり及び1世帯当たりの保険料 ② それぞれの前年度比 ③ 市の標準保険料率と前年度との比較 ④ 国保運営方針のポイントを簡単に説明を ⑤ 国保の構造的課題点の認識 ⑥ 国保料の滞納率が平成27年から29年と年々少なくなっている理由 ⑦ 法定外繰入をしっかりとやって払える保険料にすべきでは ⑧ 国保調整金を取り崩して保険料の引き下げに活用すべきでは ⑨ 従来の資産割の10%をそのまま所得割にして応能割：応益割＝55：45にして子育て世帯に寄り添った算定割合にしては ⑩ 均等割免除の可能性 ⑪ 県統一の保険料にするという動きがあるのか 2 学校給食について ① 当市の生活保護の捕捉率 ② 当市の就学援助実施状況で援助率は ③ 平成28年度～30年度の5月末時点で給食費未納数を小・中学校別に提示を ④ 学校給食の無料化を検討する考えは 3 バスケットボールの練習場について ① 小学生チームが練習できるバスケットコートが市内にどれだけあるか ② 市内にいくつのチームがあるか ③ 新しい西体育館にゴールを付けることはできないか

No.	議員名	質 問 要 旨
8	村瀬正樹 新生会 (一問一答)	<p>1 登下校時の子どもの安全について</p> <p>① 小学生の通学</p> <p>I 地域の見守り活動の現状</p> <p>II 下校時の人目につきにくい「死角」の調査や把握はなされているか</p> <p>III 交通指導員増員の考え</p> <p>② 中学生の通学</p> <p>I 通学路は決められているか、守られているか</p> <p>II 最終下校時刻は守られているか</p> <p>III 軽車両である自転車での通学生徒への指導</p> <p>IV 特別支援学級生徒の踏切横断について</p> <p>2 子ども食堂について</p> <p>① 市内にある子ども食堂の実情は</p> <p>I ボランティア側の始めたいきさつ、場所、実施日、人数、調理器具食器食材資金等の調達</p> <p>II 利用する側のここにくるわけ、境遇、人数</p> <p>III 地域の人のとらえ方、特に利用する子どもへの偏見はないか</p> <p>② 行政からの物的、人的応援についてどう考えるか</p>
9	森弓子 新生会 (一問一答)	<p>1 下米田保育園について</p> <p>① 老朽化等についての対応</p> <p>I 調理室の狭さ・温水施設の不備・汚物の洗い場がない</p> <p>II 2階への給食運び（エレベーターがない）</p> <p>III トイレの数と洋式トイレ不足</p> <p>IV 靴箱が雨の日に濡れる・避難扉の不具合</p> <p>② 今後の下米田地区の子ども増加への対応</p> <p>③ 東部地域の子育て支援センター設置の考えは</p> <p>④ 建替え計画と今103号線拡幅を関連させてはどうか</p> <p>⑤ 新園舎と定員増を望むが市の考えは</p> <p>2 保育園のICTについて</p> <p>① ゼロからのシステムづくりがなぜ必要なのか 何を目標に、いつ完了するのか。安価なおまかせシステムを導入しては</p> <p>② 保育園の民営化を進める方向では継続性を保てないのではないか</p> <p>③ システム維持のランニングコストは、全額市が負担するのか</p> <p>④ 現場は人のやりくりで苦労している。保育士の負担を減らすべき</p> <p>I 保育ICTのために仕事が増え、残務が多いのではないか</p> <p>II 保育中のタブレット入力</p> <p>⑤ 美濃加茂市が目指すテーマに共感する保育とは</p> <p>3 保育士確保について</p> <p>① 嘱託・臨時保育士との労働契約の年度更新が遅いが</p> <p>② ハローワーク以外の情報誌やフリーペーパーに掲載しては。保育士確保のための戦略・待遇改善は</p> <p>③ 現場の把握は</p> <p>4 下米田小学校の学童保育について</p> <p>① 夏休みは4年生が学童保育の対象外になるとのこと、働くお母さんを応援する美濃加茂市として対応するべきではないか</p> <p>② 交流センター、津田記念館などを利用した居場所とは</p> <p>5 あい愛バス路線及び停留所等について</p> <p>① サテライトエリアから直接病院の近くを通ってほしいという要望が多いが</p> <p>② 主要バス停に待合の整備を</p> <p>③ 3カ月・6カ月の定期券を</p> <p>④ 古井駅～可児川線の増発状況</p> <p>⑤ コストの見直し、JR等の相乗効果は</p>
10	前田孝 日本共産党 美濃加茂市議団 (一問一答)	<p>1 子どもたちの登下校時の安全対策について</p> <p>① 最近（過去3年間）の本市における地域別不審者情報の件数</p> <p>② 具体的な安全対策は</p> <p>I 見守り隊等の安全サポーターの登用</p> <p>II 青色回転灯付車両（青パト）の利用</p> <p>III 防犯カメラ・防犯灯の増設</p> <p>IV 危険場所の周知</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	前田孝 続き	<p>V 防犯ブザーの携行</p> <p>VI 子どもたちに対する安全対策教育</p> <p>2 小中高生のネット利用によるゲーム依存について</p> <p>① 小中高生のスマートフォン所持割合</p> <p>② 小中高生の電子メディア（スマホ・テレビ）の1日の利用時間</p> <p>③ ネットゲーム依存の現状とその対策の状況</p> <p>3 災害時情報伝達体制確立事業について</p> <p>① 各地区への防災ラジオ貸与件数状況</p> <p>② 防災ラジオに通常の行政同報無線情報もセットできないか</p> <p>③ 防災ラジオの借用の申し込み資格や手続方法</p> <p>④ 防災ラジオを計画的に全戸に貸与すべきでは</p>
11	山田栄 真摯会 (一問一答)	<p>1 観光事業について</p> <p>① ぎふ清流里山公園事業について</p> <p>I 宿泊施設建設計画について</p> <p>ア 計画の経緯、事業内容、運営方法、オープン時期</p> <p>イ 観光客（利用者）の客層</p> <p>ウ 当市の財政負担</p> <p>エ 当市の同業者への影響</p> <p>II ドーム建設の進捗状況及び活用について</p> <p>III 4月オープン後の入場者数と今後の見込み</p> <p>IV 遊具等の拡充など新たな施設再整備計画</p> <p>V 村里ゾーンの体験施設の里山千年計画事業に活用していけないか</p> <p>VI マラソン大会、市民まつりなど例年開催された事業の今後の開催に対する協定は</p> <p>② 「里山都市」を目指し、北部地区の里山の景観、健康の森、里山公園、中之島公園等の連携する事業展開の考えは（四季の紹介・ウオークの開催や外国人観光客の誘客の考え）</p> <p>③ 飛騨川・木曾川国定公園エリア自治体の観光連携の現況と今後について</p> <p>2 公共施設について</p> <p>① 新庁舎建設計画に関して</p> <p>I 新庁舎に入所予定の部署の考え</p> <p>II 現在の本庁外部署の扱いとその後の対応</p> <p>III 敷地面積について（9,000㎡が目安かどうか）</p> <p>IV 複合施設構想について</p> <p>② 文化会館改修計画について</p> <p>I 施設活用期間の見込み</p> <p>II 指定管理による運営の考え</p> <p>③ 保育園統合計画と施設跡地の活用について</p> <p>I 太田第一保育園・太田第二保育園の統合時期、跡地活用の考え</p> <p>II 民営化施設建設等の補助金及び開園後の市の財政負担についての見込み</p> <p>III 複合施設の新井保育園構想から下古井交流センターを除外した理由</p> <p>IV 市内の小規模保育の状況と今後</p>
12	渡辺義昌 創政会 (一問一答)	<p>1 すぐメールみのかもについて 「すぐメールみのかも」の利用状況について、また、その中でも「生活・安全情報、防犯情報」については、犯罪、架空請求などの情報が頻繁にあり驚いている。状況と対応について</p> <p>① 項目別の登録状況、利用状況</p> <p>② 「生活・安全情報、防犯情報」の内容について、警察との連携はどのようになっているか</p> <p>③ メールによって事前に犯罪が防げた事例はあるか</p> <p>④ 市民からの情報収集はできないか</p> <p>2 メディカルシティ美濃加茂構想について 昨年7月藤井前市長と厚生会山田實紘理事長との共同記者会見から10カ月経った。「メディカルシティ美濃加茂」構想について伺う</p> <p>① 総合医療センター建設の進捗状況とどのような病院になるのか</p> <p>② 改めてメディカルシティ美濃加茂はどのような構想、事業になるか</p> <p>③ かかりつけ医の紹介制度、医療連携体制など地域医療における具体的な活動はないか</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	渡辺義昌 続き	<p>④ 美濃加茂市の保健センターを総合医療センターやメディカルシティ内に配置し統合してゆく計画はないか</p> <p>3 消防団員確保について 「消防団員のなり手がなく困っています」と言う話を自治会長や団員の方からよく聞く。岐阜県も平成22年に「岐阜県消防団員確保対策等支援ガイド」を発行し、積極的に団員確保や団の活性化等に取り組んでいる消防団や市町村の先進的な事例をとりまとめている。本市におけるなり手不足の現状や課題について、また、団員に対する処遇や今後の計画について</p> <p>① 消防団の団員数、任期</p> <p>② 年齢構成はどうなっているか</p> <p>③ 普段の就業状況と消防団活動の両立</p> <p>④ 近隣市町村の実情（特に可茂消防事務組合の管轄内）</p> <p>⑤ 地域や自治会での募集方法と団員確保は十分か</p> <p>⑥ 募集について、市の指導、援助はどうなっているか</p>
13	渡辺孝男 真摯会 (一問一答)	<p>1 リバーポートパークの利用状況及び今後の集客力アップについて</p> <p>① 5月連休前にオープンしたリバーポートパークの、1日平均来場者数及び今後の施設運営について、アンケート等で来場者の意見を聞き、改善することも重要と思うが実施されたか</p> <p>② 今回の平均来場者数を、維持又は増の方策も必要であるが、市としてどのように考えているか</p> <p>③ 平成23年度選奨土木遺産に認定されている太田橋を、夜間景観整備（ライトアップ）することにより、リバーポートパークが『夜景観光』スポットになり集客につながると思う。市の考えはどうか</p> <p>2 同一住所問題について</p> <p>① 岐阜市で250世帯が同一住所で70年経てようやく解消されたが、本市にも同一住所地域があるが、現在何世帯あり、市民からの苦情等はあるか</p> <p>② 本市も岐阜市のような対応策を考えているか</p> <p>3 放課後児童クラブについて</p> <p>① 放課後児童クラブの基本は、6年生までが対象になっている。しかし低学年の人数が多く高学年までの受け入れが困難な状態になっている自治体もあり、本市でも対象者がいると思うが、何人が対象で、今後の対応策を市としてどのように考えているか</p> <p>② 放課後児童クラブに入れられない待機児童の子供達のために、シルバー人材センターに依頼し、縄あみ、手芸、昔話等、地域の公民館をお借りし伝承する活動も待機児童を少なくする方策であるが市の考えは</p> <p>4 美濃加茂結婚相談所について</p> <p>① 昭和50年から結婚相談所が開設されている。現在は毎週土曜日、福祉会館で相談が行われているが、相談員の処遇と、取り扱い件数等がどれだけあるか</p> <p>② 利用者を増やすため、昨年度、初めてカミーノの5つのステージを記載し、マリッジ・カフェ美濃加茂（結婚相談）のリーフレットを発行されたが、その後の利用状況はどうか</p> <p>③ 婚活イベントについて、山之上まち協とタイアップして実施をされたが、今後リバーポートパーク等、市内にある施設を使って行う計画はあるか</p>
14	金井文敏 市議会 公明党 (一問一答)	<p>1 健康ポイントについて 生活習慣病を予防して、できるだけ長く健康を保つには市民の自主的な健康づくりが重要である。そして継続的に運動を行うことが重要である。自主的な取り組みを後押しすることで運動習慣をつけることができれば医療費の抑制にもつながる</p> <p>① ポイントを貯める</p> <p>② ポイントを使う</p> <p>③ アプリを利用する</p> <p>④ 通信端末を活用する</p> <p>⑤ 自主的な健康づくりの取り組みを後押しする</p> <p>⑥ 各自がメニューを選び挑戦する</p> <p>2 市民のごみ出しについて 家庭のごみ出し作業は生涯続く。いかに便利に、楽しく、節約できるかを考えることにより、大変なごみ出し作業を無理なく安定して出すことができる</p> <p>① 廃棄物処理に対する市の責任と役割</p>

No.	議員名	質 問 要 旨
	金井文敏 続き	<p>② 自治会未加入者の対応</p> <p>③ 指定時間に出せない人への対応</p> <p>④ 集積場所を作り廃棄物処理のインフラ整備</p> <p>⑤ ごみ出し困難者への代行支援</p> <p>3 魚津市と姉妹都市交流について お互いに協力することで地域が発展することができるのが姉妹都市である。地域が違えば人々の考え方も違う。その違いを理解し、お互いの地域の文化や資源のPRを推進することで、観光などの多彩な産業活動を活性化させる。接点を理解しお互いに協力することで相乗効果生まれる</p> <p>① 姉妹都市交流のメリット</p> <p>② 珪化木を活用する</p> <p>③ インバウンドを推進する</p> <p>④ 交流人口を増やす</p> <p>⑤ 地の利を生かす</p>